

平成 29 年度 第 3 回長野県教科用図書選定審議会 議事要旨

1 日 時：平成 29 年 8 月 18 日（金）14:00～16:00

2 会 場：長野県庁議会棟 405 号会議室

3 出席者

○委 員：石塚委員、木下委員、下島委員、長谷部委員、松井委員、宮島委員、岩本委員、二茅委員、野田委員、藤森委員、犬飼委員、柄澤委員、田仲委員、水口委員、宮下委員

○事務局：菅沼教育次長、北澤教学指導課長、湯沢企画幹、佐倉義務教育指導係長、勝又特別支援教育課指導係長ほか

4 内 容

(1) 議事

①県立特別支援学校小学部において使用する小学校用教科書（「特別の教科 道徳」）の選定に対する意見聴取について
▶ 選定について異議なし

②県立特別支援学校小学部及び中学部において教科用図書をして使用する一般図書の選定に対する意見聴取について
▶ 選定について異議なし

③教育委員会への答申（案）について

【水口委員】選定に対する意見聴取については、「適当である」として、答申してよいか。
(異議なし)

(2) 教育委員会への答申

(3) 来年度の運営に向けてのご意見・感想

【下島委員】公正・公平に選定されていることがよく分かった。

【木下委員】それぞれの学校がこの教科書を使いたいという意図で選定された。それに特色がある教科書を、それぞれの学校の先生が、その学校の生徒のことを考えて選んだ。先生方の気持ちが子どもたちに届き、良い授業ができるといい。教科書それぞれが違っていて、特色があることが分かった。

【宮島委員】教科書ごとに工夫をされているので、それを見ながら採択することの大切さが分かった。

【長谷部委員】教科書ごとのよさがあって、そのよさをどう使っていくか。その学校がその教科書を使ってどう扱っていくかという観点が大切だと感じた。

【岩本委員】世間が注目している採択。道徳の教科書を何度も読ませてもらった。大人が読んでも、心に迫る内容があった。先生方がしっかり読んで、よい授業をしてほしい。来年も様々な教科書の採択で大変だと思うが、力を合わせていってほしい。

【藤森委員】調査する一般図書一覧を見せていただき、新規の物も増えていてよいことだと感じた。

【水口委員】皆様のご協力のおかげでまとめることができた。ありがたかった。

【田仲委員】全3回にわたりご協力いただいた。私自身も学ぶことが多くあった。

(4) 教育長あいさつ

(管沼教育次長より)

- ▶ 採択について答申をいただいた。
- ▶ それぞれより貴重なご意見をいただいた。市町村教育委員会で採択をする際参考にしていただく。
- ▶ 調査員の皆様にも感謝申し上げる。
- ▶ ご多用中にもかかわらずご審議いただいたことに感謝申し上げる。